

文化

古都京都には、雅と町衆という大きく二つのイメージがある。こうしたイメージは、近代に創りだされたものである。

江戸初期の名所図会「京董」(一六五八年)の東寺の場面で、弘法大師と守敏との法力争いの物語とともに描かれるのは、大師堂(御影堂)である(図)。大師堂は、東寺境内西側にあつて、室町時代以降、弘法大師信仰の中心であつた(水本邦彦編「京都と京街道」)。決して、今日、「そうだ京都、行こう」とJR東日本のポスターになる、平安前期の密教美術の粹、端正な帝釈天像などを擁する講堂の立体曼陀羅のイメージではない。

同じことが、国風文化の象徴、平等院鳳凰堂でもいえる。江戸期の鳳凰堂は、宇治川の「橋合戦」、『平家物語』の源頼朝の世界にあつた(宇治歴史資料館「幕末明治、京都名所案内」)。しかし近代には平安時代後期の「国風文化」と位置づけられ、一八九三年のシカゴ博覧会の日本パビリオンになり、戦後の十円硬貨の意匠となる。一九一一年十月、奈良女子高等師範学校の修学旅行では、頼政の画像や「宇治川合戦の遺物、薙刀、鎧、鞍、弓」とともに、優秀な「藤原氏時代」の鳳凰堂、定朝の阿弥陀如来を鑑賞するが、彼女たちには江戸期から近

古都京都には、雅と町衆という大きく二つのイメージがある。こうしたイメージは、近代に創りだされたものである。

「国風文化」と「安土桃山文化」自ら重ね、雅や町衆生む

京都

時のまなざし

高木 博志



たかぎ・ひろし氏 1959年大阪府生まれ。立命館大学院博士課程修了。専門は近世・近代日本文化史。著書に「近代天皇制の文化史的研究」など。

代への価値観が重層していた。

文化財化の道

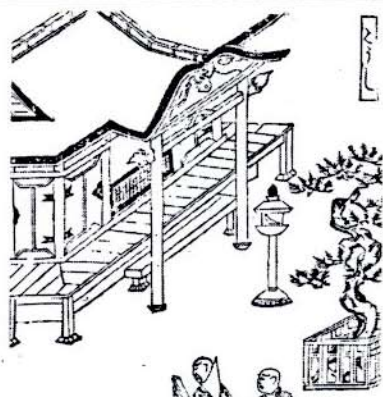
これらの変化は、明治維新から一八九〇年の岡倉天心の「日本美術史」講義を契機に胎動する。今日、京都国立博物館の常設展示にゆくと二階の仏像群は「彫刻」の部屋にある。江戸期には信仰の対象であり、様々な縁起や伝説のなかにあつた仏像は、欧米の美術史の語りのなかで「彫刻」と読み替えられ、芸術家(仏

師)が特定され、美術品として展覧される。そして国宝が価値づけされる。社寺・絵画・仏像をして名所は、古典文学などの一体性がなくなり、神話や伝説が剥ぎ取られ、モノ・美術として「文化財」化してゆく。文化史からいえば、二十世紀には、京都自身も、「文化財」化の道を歩み始め、戦後になって古都と自己表象する。

「大京都市」へ

飛鳥時代から江戸時代にかけての日本の文化の流を時代区分する見方は、一八九〇年代に成立

古都京都イメージの近代



江戸初期の名所図会「京董」(1658年)の東寺の場面で描かれている大師堂(御影堂)。当時のシンボルは立体曼陀羅ではなかった

し、古都奈良は古代に特化される。そして古都京都は、国民国家形成期の一八九〇年代には固有な日本文化の源泉として「国風文化」に自らを重ねる。この時期、東京還都以来の京都復興策は、一八九五年の内国博覧会・遷都千百年記念祭として実現した。一九一〇年代以降の「帝国」の時代には、豊臣秀吉や南蛮文化、あるいは庶民文化の台頭など近代につながる「文化的資質」として「安土桃山文化」が顕彰される。この間、明治期以来の三大事業により、第二次疎水・上水道・市電などが整備され、市区改正による道路拡幅が

歴史段階に特化された京都を考察してきた。幻想の古都イメージと現実との位相については、紙上で「みるこの近代」考えるべき課題であろう。

京都大学人文科学研究所では、歴史・建築・造園・美術などから学際的に、共同研究「近代京都実」を全体テーマに論じたい。

文化メモ

▽京都大学人文科学研究所 夏期公開講座「古都イメージの近代と現実」 8日後1時、小林文広「京都の「公的記憶」と「共同体の記憶」」、丸山宏「近代京都名勝考」。9日後1時、高木博志「近代京都と国風文化・安土桃山文化」、伊佐勉「都市の計画と京都イメージの変遷」。いずれも京都大学人文科学研究所本館大会議室(左京区吉田牛ノ宮町)で、入場無料。 ☎075(753)6902

京都は、光彩を放った歴史的な時代の二つのピク、すなわち「国風文化」「安土桃山文化」に自らを表象してゆく。前者は昭和十年代に源氏物語研究で雅な側面が強調され、後者は高度成長期の林屋辰三郎らによる町衆の市民文化にいたり、今日の二つの古都イメージの源泉となった。祭でいえば雅な養蚕と町衆の祇園祭とにそれぞれ対応する。このように京都の町を中心に、ある

京都大学人文科学研究所 夏期公開講座「古都イメージの近代と現実」 8日後1時、小林文広「京都の「公的記憶」と「共同体の記憶」」、丸山宏「近代京都名勝考」。9日後1時、高木博志「近代京都と国風文化・安土桃山文化」、伊佐勉「都市の計画と京都イメージの変遷」。いずれも京都大学人文科学研究所本館大会議室(左京区吉田牛ノ宮町)で、入場無料。 ☎075(753)6902